

環境活動レポート

タカヤナギ ECOな取り組み

エコアクション21



株式会社 タカヤナギ

令和3年度

取組期間（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

作成日 令和4年4月30日

目 次

項目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営システムの組織図、役割、責任、権限	4
環境経営目標	5
環境活動計画の内容	5
主な環境負荷の実績、環境経営実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策	11
緊急事態対応訓練	11
環境関連法規の取りまとめ及び遵守評価	12
外部コミュニケーション	13
代表者による総合評価と見直し	14

環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社タカヤナギは、特別管理産業廃棄物・産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬業務並びに運送業務を通じ、全員参加で地球環境保全に貢献し改善に努め、「愛されること、誉められること、役に立つこと、必要な人になること」をモットーに持続可能な社会づくりを目指します。

基本方針

株式会社タカヤナギは、基本理念の実現に向けて以下の環境経営活動を行います。

1. 環境への負荷をできる限り少なくし、循環型社会の構築に向けて企業活動します。
 - ・二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
 - ・リサイクル推進、廃棄物の削減に努めます。
 - ・環境に配慮した備品、消耗品のグリーン購入を推進します。
 - ・節水に努めます。
2. 環境経営の継続的改善を実施する。
3. 環境関連法規制、条例等、その他の要求事項を遵守する。
4. 安全運転に心がけ、適正処理をします。
5. この環境方針を全社員に周知徹底させ、環境への意識高揚を図る。

改定日 平成31年4月1日

株式会社 タカヤナギ
代表取締役 平田 豪

□組織の概要

- 1) 事業者及び代表者
株式会社タカヤナギ 代表取締役 平田 豪
- 2) 所在地
本 社：静岡県沼津市西間門 1 4 番地の 1
本社／営業所：静岡県沼津市西間門14-1
- 3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
責任者 佐藤 舞子
連絡先 T E L : 055-922-6230 F A X : 055-922-6231
- 4) 事業内容
一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬・特別管理産業廃棄物収集運搬
一般貨物自動車運送
- 5) 認証・登録の対象組織・活動
登録組織名：株式会社タカヤナギ 対象事業所：沼津営業所
- 6) 事業の規模 3月決算

活動規模	単位	R1年度	R2年度	R3年度
廃棄物関係事業	t	2734.5	2781.1	3304.1
売上高	千円	278,221	324,627	386,417
従業員	人	14	14	14
床面積	m ²	1393.24	1393.24	1393.24
保有車両	台	14	15	15

情報公開項目

法人名 株式会社タカヤナギ 代表者 代表取締役 平田 豪
資本金 2,100万円 設立 1988年10月12日 売上高 上記参照

許可の内容

産業廃棄物収集運搬業

	静岡県 優良	愛知県 優良	神奈川県	東京 優良
許可番号	02212000544	02300000544	01402000544	13-00-000544
許可年月日	R 元. 9. 29	R3. 5. 11	R 元. 9. 10	R 元. 12. 16
許可有効期限	R 8. 9. 28	R10. 4. 24	R6. 7. 16	R8. 12. 15
事業の範囲	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (医療関係機関等から排出されるもの限り、積替え保管含む)	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

特別管理産業廃棄物収集運搬業

	静岡県 優良	愛知県 優良	神奈川県	東京 優良
許可番号	02261000544	02350000544	01452000544	13-50-000544
許可年月日	R2. 8. 2	R3. 5. 11	R元. 9. 10	R元. 12. 16
許可有効期限	R9. 8. 1	R10. 4. 24	R6. 7. 16	R8. 12. 15
事業の範囲	感染性廃棄物（積替え保管含む）、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ等48品目	感染性廃棄物、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ等48品目	感染性廃棄物	感染性廃棄物

一般廃棄物収集運搬業

許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲
03326	R3. 10. 4	R5. 10. 4	三島市一般廃棄物の収集運搬

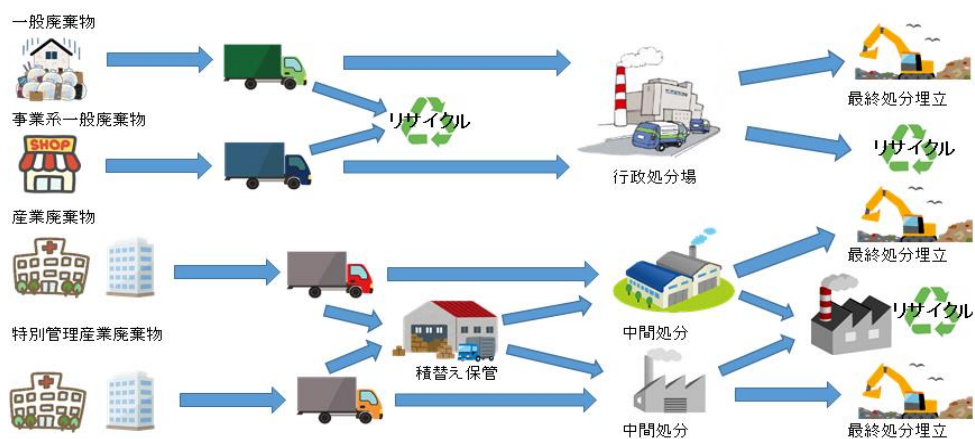
施設等の状況

収集運搬車両	形状	台数
4 t 車	バン	5台
3 t 車	バン	2台
2 t 車	バン	6台
2 t 車	塵芥車	2台

積替え保管施設 該当有（静岡県）

種類	品目	保管上限（m³）	面積（m²）
特別管理産業廃棄物	感染性廃棄物	11. 12	6. 43
産業廃棄物	廃プラスチック類	3. 52	2. 61
	ガラスくず	0. 8	1. 82
	廃酸	0. 18	0. 57
	廃アルカリ	0. 18	0. 57

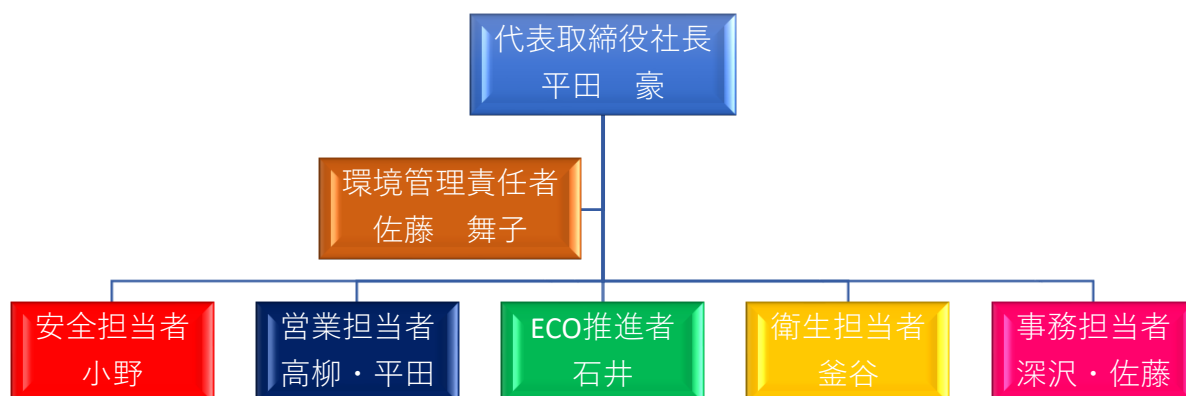
廃棄物フロー図



処理実績

収集運搬実績	種類	実績（t）	収集運搬実績	種類	実績（t）
産業廃棄物	汚泥	0.001	特別管理 産業廃棄物	感染性廃棄物	2206.775
	廃油	3.012		引火性廃油	4.123
	廃酸	3.831		腐食性廃酸	
	廃アルカリ	0.927		腐食性廃アルカリ	
	廃プラスチック類	655.399		合計	2210.898
	紙くず		一般廃棄物		
	木くず	0.550		可燃・不燃	322.660
	金属くず	46.241		古紙	31.830
	動植物性残渣			合計	354.490
	ガラ・コン	25.665			
	水銀使用製品	3.061			
	合計	738.687	総合計		3304.075

□環境経営システムの運営体制



担当者	役割、責任、権限
代表取締役社長	・経営における課題とチャンスの明確化・環境管理責任者及びその他の責任者の任命をする。・環境方針を決定する。・エコアクション21の総合評価と方針の見直しをする。・関係法令遵守に関し、責任を持つ。
環境管理責任者	エコアクション21に係る事項の決定、報告場所。統括をする。各担当者（安全担当者、営業担当者、衛生担当者、ECO推進者、事務担当者）を指揮する。
安全担当者	決定事項に基づき、車両に係る事項を統括する。
営業担当者	決定事項に基づき、営業に係る事項を統括する。
ECO推進者	決定事項に基づき、発注に係る事項を統括する。
衛生担当者	決定事項に基づき、清掃に係る事項を統括する。
事務担当者	決定事項に基づき、事務に係る事項を統括する。

□環境経営目標

取組項目	目標年度	環境目標	部門別目標	中長期目標（対30年度）
二酸化炭素排出抑制	令和3年度	平成30年度比総量で排出量を5%削減する	電気使用量を5%削減 使用燃料を5%削減 LPGのデータを取る	令和3年度 排出量5%削減 令和4年度 排出量5.2%削減 令和5年度 排出量5.4%削減
水量の削減	令和3年度	平成30年度比総量で総排水量5%削減する	排水量の5%削減	令和3年度 排出量5%削減 令和4年度 排出量5.2%削減 令和5年度 排出量5.4%削減
廃棄物の排出量の抑制	令和3年度	平成30年度比総量で排出量を5%削減する	排出量の5%削減	令和3年度 排出量5%削減 令和4年度 排出量5.2%削減 令和5年度 排出量5.4%削減
化学物質使用量の削減			使用する化学物質はない為該当無	
受託産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	令和3年度	リサイクル80%（基準）に対し1.3%向上する	リサイクル率1.3%向上	令和3年度リサイクル率1.3%向上
				令和4年度リサイクル率1.4%向上
				令和5年度リサイクル率1.5%向上
環境意識の向上	令和3年度	グリーン購入	コピー用紙、業務用品全般優先購入	

受託廃棄物のリサイクル率向上は収集運搬し中間処理後のリサイクルと埋立量（最終処分）の割合

※液化石油ガスは11月より使用。目標は決めず基準値を決める為データをとる。

□環境活動計画の内容

	内容		管理責任者
購入電力	使用していないパソコンの電源を落とす。		事務担当者
	不必要な照明を落とす。		事務担当者
	冷暖房の設定温度を守る。（暖房21度、冷房28度）		事務担当者
	クールビズ、ウォームビズの実施		衛生担当者
化石燃料	効率的なルートで営業・収集運搬する。		安全担当者
	アイドリングストップに心がけE C Oドライブをする。		安全担当者
	液化石油ガスのデータをとる。		衛生担当者
水資源	生活排水、洗車時の節水。		衛生担当者
	節水シールの貼り付けとポスター掲示		衛生担当者
廃棄物の削減	分別の徹底		衛生担当者
	紙使用量削減	コピー用紙の失敗枚数削減	事務担当者
		両面使用の徹底	事務担当者
		F A Xのプレビュー確認後印刷	事務担当者
	使用済み用紙をリサイクル施設へ搬入。		E C O推進者
受託廃棄物における環境配慮及びサービスの改善		受託廃棄物の再資源化の推進、営業	営業担当者
グリーン購入		エコマーク商品の優先購入	E C O推進者

□主な環境負荷の実績

項目	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素総排出量	k g -CO ₂	249,529	232,207	247,218
電力	k g -CO ₂	4,883	5,046	4,848
軽油	k g -CO ₂	240,058	223,936	239,122
ガソリン	k g -CO ₂	4,588	3,225	3,229
液化石油ガス (LPG)	k g -CO ₂			18.63
化石燃料合計	k g -CO ₂	244,646	227,161	242,369.63
総排水量	m ³	126.5	149.5	101.5
自らの廃棄物排出量	k g	314	372	391

□環境経営実績

環境目標		単位	H30年度	R3年度	R3年度	達成率	評価	R4年度
			基準値	目標	実績			目標
二酸化炭素の総排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	10,206	9,696	9,977	97%	△	9,675
		kg-CO2	4,960	4,712	4,848			4,702
	軽油使用量の削減 排出係数2.58	L	96,687	91,853	92,683	99%	△	91,659
		kg-CO2	249,452	236,980	239,122			236,480
	ガソリン使用量の削減 排出係数2.32	L	2,634	2,503	1,392	179%	○	2,497
		kg-CO2	6,110	5,805	3,229			5,792
	液化石油ガスの削減	m³			3			
		kg-CO2			18.63			
合計		kg-CO2	260,522	244,891	247,218	99%	△	246,974
水量の削減		m³	141	134	101.5	132%	○	133
廃棄物排出量の抑制		kg	310	295	391	75%	×	293
受託産業廃棄物の収集運搬における環境配慮		リサイクル率（%）	80	81.3	80.1	99%	△	81.4
グリーン購入			優先購入	優先購入	優先購入		○	優先購入

表中の評価の記号 (○目標達成、△達成率90%以上、×達成率90%以下)

購入電力の排出係数は、平成30年度実績 東京電力エナジーパートナー (株) 実排出係数=0.000486 t -CO₂/kWhを採用

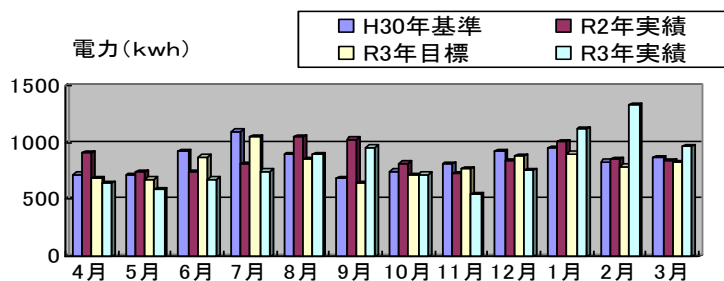
液化石油ガス (LPG) の使用量は気体 (m³) で把握し、「1m³=2.07 k g」に換算

□環境経営計画の取組結果とその評価

電力使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	基準年度より2.2%減少したが目標は達成できなかった。売上が上がり業務量が増えた事、コロナ対策で密を避けるため冷暖房中でも換気をしたりと設定温度を守れない事もあった。また11月末より新社屋に移転した為、1、2、3月の電力使用量が増えてしまった事が大きな要因である。コロナ対策と環境対策のバランスを考え次年度も継続していく。
使用していないパソコンの電源を落とす。	○	
不必要な照明を落とす。	○	
冷暖房の設定温度を守る。暖房21度、冷房28度	△	
クールビズ、ウォームビズの実施	○	

表中の評価の記号（○十分実施できた、△一部実施できた、×実施できなかった）

啓発シール、ポスター掲示

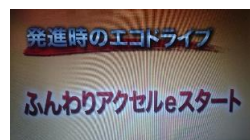
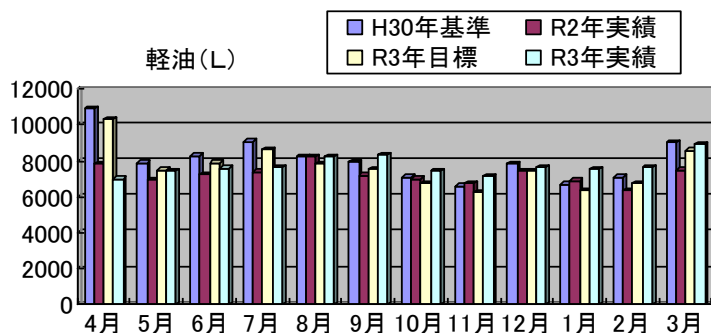


購入電力 kWh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	721	715	922	1104	902	683	751	815	930	954	836	873	10,206
令和2年実績	910	744	739	811	1051	1032	818	729	841	1012	856	840	10,383
令和3年目標	685	679	876	1049	857	649	714	774	884	906	794	829	9,696
令和3年実績	649	591	679	751	902	960	721	543	754	1122	1338	967	9,977

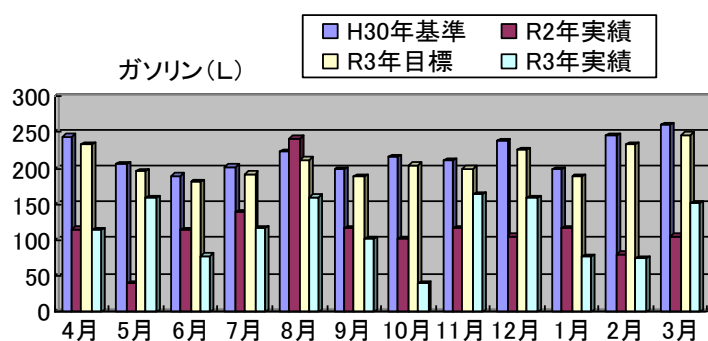
軽油・ガソリン・液化石油ガス使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	数値目標は1%届かなかったが、売上が19%あがった為売上ベースで見ると達成している。軽油は1%達成できなかったが、回収ルートの見直しを図り、効率的なルートを考え、意識的に行動できた。ガソリンは取組と目標を達成できた。老朽化の車両の入替を2台実行した為来年度に期待したい。また11月よりガスを使用している為使用量の把握をした。次年度も継続していく。
効率的なルートで営業・収集運搬する。	○	
アイドリングストップに心がけECOドライブをする。	○	
液化石油ガスの使用量の把握	○	

啓発シール、エコドライブ動画

老朽化の車両入れ替え



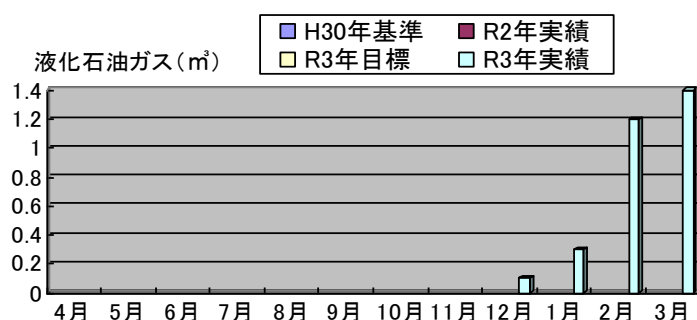
軽油L	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	10899	7892	8299	9077	8256	7943	7089	6609	7818	6694	7083	9028	96,687
令和2年実績	7858	6959	7270	7398	8240	7189	6985	6742	7416	6891	6343	7506	86,797
令和3年目標	10354	7497	7884	8623	7843	7546	6735	6279	7427	6359	6729	8577	91,853
令和3年実績	6988	7438	7580	7651	8248	8362	7466	7169	7662	7513	7667	8939	92,683



エコドライブ10
のすすめ



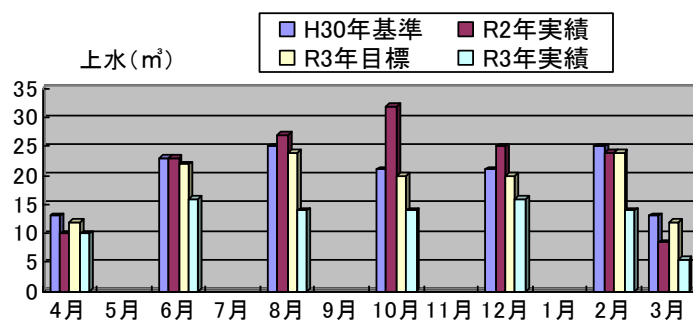
ガソリンL	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	245	206	190	202	223	198	216	211	238	199	246	260	2,634
令和2年実績	115	40	114	139	242	116	101	116	105	117	80	105	1,390
令和3年目標	233	196	181	192	212	188	205	200	226	189	234	247	2,503
令和3年実績	114	159	78	116	160	101	39	164	159	77	74	151	1,392



液化石油ガスm³ (LPG)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準													
令和2年実績													
令和3年目標													
令和3年実績									0.1	0.3	1.2	1.4	3

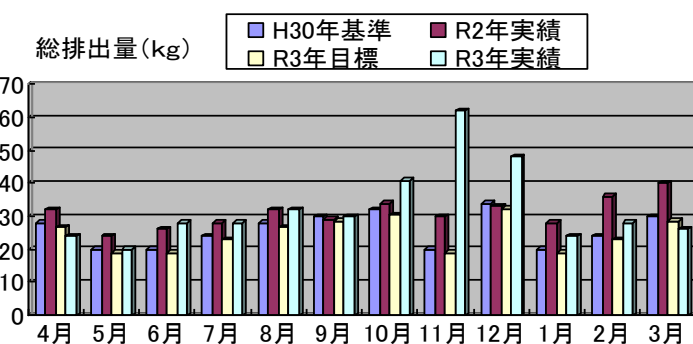
液化石油ガス (LPG) の使用量は気体 (m³) で把握し、「1m³=2.07kg」に換算

水量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	昨年度の反省を生かし、目標を達成できた。コロナ対策の一環で洗車する品度は増えたが、節水シール、ポスター掲示により環境意識の向上ができた。次年度も引き続き継続していく。
生活排水、洗車時の節水	○	
節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



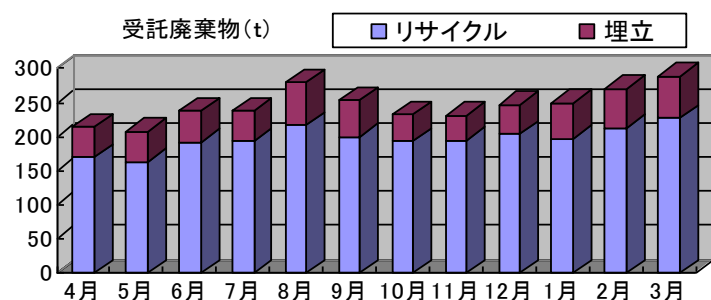
総排水量 m^3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	13		23		25		21		21		25	13	141
令和2年実績	10		23		27		32		25		24	8.5	149.5
令和3年目標	12		22		24		20		20		24	12	134
令和3年実績	10		16		26		14		16		14	5.5	101.5

廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本年度もコロナ対策で1年通して手洗い後タオルではなくペーパータオル紙やアルコール除菌シートで手を拭いていた為増加してしまった。また新社屋に移転した為11月、12月のごみが増えた事が大きい。リサイクル可のもの等、分別は徹底できた。紙資源の削減では概ね取組むことができたがFAXのペーパーレス化が今後の課題である。売上増加に伴い業務量の増加と環境のバランスを考えて行きたい。次年度も継続していく。
分別の徹底	○	
コピー用紙の失敗枚数削減	○	
両面使用の徹底	○	
FAXのプレビュー確認後印刷	△	
使用済み用紙をリサイクル施設へ搬入	○	



総排出量 k g	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年基準	28	20	20	24	28	30	32	20	34	20	24	30	310
令和2年実績	32	24	26	28	32	29	34	30	33	28	36	40	372
令和3年目標	26.6	19	19	22.8	26.6	28.5	30.4	19	32.3	19	22.8	28.5	295
令和3年実績	24	20	28	28	32	30	41	62	48	24	28	26	391

受託廃棄物における環境配慮及びサービスの改善	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	△	数値目標は達成できなかったが中間処理後のリサイクルを推進、営業し、顧客に対し分別の協力等の営業はできた。新規処分場の開拓も積極的に取組むことができた。廃棄物の種類によってはリサイクルが難しい面もあるが極力、埋立を減らす方法を引き続き考えていきたい。次年度も継続していく。
受託廃棄物の再資源化の推進、営業	○	
新規処分場の開拓	○	



受託 t	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受託廃棄物	213.6	208	237.8	238.3	279.5	254.1	232.4	231.3	246.6	249.1	269.9	289	2,949.6
リサイクル	169.6	163.6	192.3	193.8	216.7	199.8	193.6	194.4	203.4	196.7	213.1	226.9	2,363.9
埋立	44	44.4	45.5	44.5	62.7	54.3	38.9	36.8	43.2	52.5	56.9	62	585.7
recycle率	79.4	78.7	80.9	81.3	77.5	78.6	83.3	84	82.5	79	79	78.5	80.1

受託廃棄物のリサイクル率は収集運搬し中間処理後のリサイクルと埋立量（最終処分）の割合

グリーン購入	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
エコマーク商品優先購入	○	数値目標は設定していませんが事務用品は100%です。また廃棄物処理容器もリサイクル容器を推進できました。本年度は車両2台入替を実施した。環境負荷や燃費にも関わってくる為、車両の入替も検討していき、次年度も継続していく。
事務用品	○	
リサイクル容器の推進	○	
車両の入替	○	

□環境教育

実施日：令和3年11月22日（月）	実施場所：沼津営業所	参加者：全従業員
実施内容 ・エコアクション21概要、取組の意義、重要性について ・環境方針、環境目標、環境計画の内容、役割・責任の確認 ・エコアクション21途中経過の確認		
		

□環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策

産業廃棄物収集運搬時の緊急事態対応計画書

- 1 本計画書は産業廃棄物収集運搬時の交通事故等により環境上の緊急事態の対応を定める。
- 2 未然防止対策及び緊急時への準備
 - ・安全運転ミーティングを行い、日頃から安全運転を心がける。
 - ・万が一のために備え、消火器等を車両に積んでおく。
 - ・事故後に「想定される事故」を日頃より検証。
 - ・「KYT」・事故報告書・安全会議・適正検査・運転簿の書類管理をし、記録、定期的に確認、評価している。
- 3 交通事故時の対応
 - ・速やかな応急対策

速やかに安全な場所に車両を止め、二次事故を起こさないようにする。

事故時に相手がいる場合は、速やかに相手に声をかけ、怪我等の把握をする。

 - ・関係機関へ通報する。
- 4 会社へ通報する。
 - ・速やかに会社へ通報し、運行管理者の指示を仰ぐ。
- 5 緊急事態の対応後の手順
 - ・運行管理者および管理責任者は、措置終了後、事故の概要を当事者に事故報告書を記入させ、保管する。

事故報告書の記載事項

 - ・発生日時、場所・事故の概要・その他考えられる事故・防止策
 - ・運行管理者及び管理責任者は、事故後安全運転ミーティングを開く。
 - ・安全運転ミーティングの内容を記録に取り、保管する。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：交通事故発生	
実施日：令和3年 11 月 26 日（金）	実施場所：沼津営業所
参加者：7名参加	実施内容：救護訓練（心肺蘇生AED）
手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
評価：救護訓練では交通事故が発生し、救護を仮定し訓練を行った。心肺蘇生のやり方やAEDの使い方を再認識し速やかに手順書通りに行うことができた。	
	

□環境関連法規の取りまとめ及び遵守評価

環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無については下表の通りである。

評価日：令和4年3月31日		評価者：環境管理責任者 佐藤 舞子		
法律	法的な要求事項	手続き	内容	評価・遵守
環境基本法	一般的な自主努力		3 R への努力	○
フロン排出抑制法	フロン回収		許可業者へ廃棄	○
資源有効利用促進法	リサイクル等への協力		分別の徹底 グリーン購入	○
家電リサイクル法	再商品化の協力	リサイクル券購入	指定場所への廃棄	○
グリーン購入法	環境物品の購入		事業者は一般責務	○
浄化槽法	設置、法定検査	届出	保守点検、清掃	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬許可 特別管理産業廃棄物収集運搬許可	処理基準遵守		○
		許可の更新	各県許可申請	○
		変更時の届出	各県変更許可申請	○
		契約書の締結/保管		○
		マニフェストの確認 処理	B2票を10日以内に事業者 に送付	○
		マニフェストの保管	B1票・C2票の5年間保管/ 管理	○
		年間報告	毎年6月に報告	○
		県外搬入届出書	毎年3月に届出	○
		廃棄物の悪臭・飛散 防止	保冷車使用	○
		投棄禁止	不法投棄禁止	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物処理の委託先の 実地確認・記録・保管	委託契約締結前受託者の 現地確認	確認の結果を記録	○
		契約後、毎年1回以上の 処理状況の確認	確認の結果を記録	○
		処分場視察記録保管	5年間の保存	○
道路交通法	交通法規遵守		法定速度	○
道路運送車両法	法定点検		定期点検、車検	○
条例など				
三島市条例	一般廃棄物収集運搬許可	許可の更新	三島市許可申請	○
		変更時の届出	三島市許可申請	○

□違反、訴訟等の有無

過去3年間、関係当局からの環境関連法規等の違反の指摘、及び訴訟はありません。

□外部コミュニケーション

「 環境レポートをホームページで公開 <https://www.tkyng.com/> 」

「 地域（社会）貢献 」



事務所前の排水溝の清掃



事務所近隣のごみ拾い・草刈り清掃



外部からの苦情等の受付結果

令和3年度は、苦情等の受付はありませんでした。

以上

□代表者による評価と見直し・指示 実施日：令和4年4月30日

エコアクション21の取組をもとに環境経営システムを有効に機能、継続し社内で定着してきたように思います。本年度はコロナ禍で廃棄物処理においては重大な処理責任があるなか従業員が一同感染予防に努め、売上を増加することができました。コロナ対策との兼ね合いが難しい1年でしたが昨年の教訓を生かし取組むことができました。感染対策の部分ではどうしても電気使用量が増加してしまっていますが環境を意識し削減への取組努力が上昇率を抑えているように思います。また新社屋に移転し、設備機器が増えた分それに伴って増加したこともあると思いますが電機はLED照明、ガスはエコジョーズ、窓はペアガラス等環境負荷の小さい製品を積極的に使用しました。液化石油ガスの使用が新たに環境負荷に該当しますが使用量を把握し環境目標を考えて行きたいと思います。

本年度も一人一人が意識と抑制しようという気持ちで十分に達成できたと思います。今後も更なる意識を高めて取り組んでいき、持続可能な社会の構築に今後も貢献していきたいと思います。

株式会社タカヤナギ
代表取締役 平田 豪

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更有
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更有
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更有